

# 地場産業で

# まちを元気に

本市には、焼き物、薬、お茶など、市外に誇れる地場産業があります。これら地場産業の振興は地域経済対策はもちろんのこと人口減少対策として大変重要であり、元気なまちづくりには欠かせません。

甲賀の國づくりプロジェクトでは、古くから受け継がれてきた地域資源を積極的に活用することにより新たな価値や魅力を見いだし、地域経済の活性化を促すことで、まちの持続的な発展をめざっています。

## 信楽焼



### 海外販路の開拓や 新商品開発を支援

長い歴史と伝統に培われた信楽焼は本市が誇る地場産業として、地域経済を支えてきました。その活性化を図ることは本市の未来を創造するうえで不可欠ですが、安価な外国産陶磁器に押されるなどして、信楽焼の生産額は年々落ち込んでいます。

画期的で新たなヒット商品の開発に対する支援を行っています。

今年度は3年に一度開催される「信楽まちなか芸術祭」で、国内外へ陶都信楽の魅力を発信します。

昨年度は、スペインで開催された世界有数の料理の学会に、料理を引き立たせるための器として信楽焼を出展し、

世界的に有名なシェフから注目されるなど、大きな反響を呼びました。今後も、海外市場での安定した流通の獲得をめざした取り組みを進めます。

また、地域産業の活性化を目的として、全国募集枠により信楽高等学校へ入学した生徒の支援や、陶業関係の職をめざす修学者に対する修学資金貸付制度を設けています。

信楽焼というブランドの独自性を打ち出し、売れる物づくりを支援することで担い手育成に貢献していきます。

### 信楽焼振興協議会

会長 **松本 洋一**さん



地場産業としての信楽焼ブランドを未来に継承していくためには安定した経営を確保し、後継者を育成しなければなりません。

そのために、昨年度から海外で実施している食とあわせた信楽焼を紹介する取り組みを継続し、国内外の市場にしっかりとつなげていく販路拡大が重要と考えています。

また、信楽にいる若い陶芸家の新しい感性を大切に、それを新商品の開発につなげることも大切です。担い手を支援し、一部の商品だけが潤うのではなく信楽の陶業全体が活性する商品の開発や事業者間の連携を進めてまいります。

## 薬業



### 稼ぐ力が強い 地域基盤産業へ

本市は滋賀県を代表する薬業のまちとして発展し、その生産額は県全体の9割にもおよびます。市内には多くの医薬品関連企業が立地し、税収と雇用の安定に大きく貢献されています。

しかしながら、薬業界では、配置売薬の需要の減少や、規制緩和による販売形態の変化

による価格競争という課題を抱えています。

今年度、総務省が甲賀市を対象に「地域の基盤産業強化のための調査」を実施しています。この調査は地方創生において重要となる地域の基盤産業を強化するための調査です。

薬業は、「稼ぐ力」が大変強い産業であることが統計

データからも明らかになっています。今後、「くすりのまち甲賀」としての、ブランド価値を向上させるとともに本市の伝統的な配置売薬のシステムを生かした振興施策を打ち出してまいります。

また、今年度から漢方薬の原料となる薬用作物の産地化への取り組みを始めています。今後も薬業界の皆さんと連携しながら、担い手の育成と知識・技術の高度化や販路開拓への支援を行っていきます。

### 滋賀県薬業協会

会長 **大橋 淳**さん



これからの薬業界は、国内外の販路拡大に加えて、商品開発をするための人材育成も必要となってきます。若い人材を地場産業の会社へ雇用することで業界の活性化を図ってまいります。

## 農林業



### 6次産業で所得向上 地域林業の再生・強化

近年、農業を取りまく環境は厳しく、米価や茶価の下落などにより、農業所得が低迷し、後継者不足や高齢化が進んでいます。

市では農業者が連携して生産から加工、販売までを行う6次産業化システムの構築を進めています。

消費者ニーズに応える加工品を生産して「甲賀野菜」のプ

ランド力を市内外に発信しながら、経営の安定と所得の向上に取り組むこととしています。

県茶道指導所で進められている花の香りを売りにした新たな近江の茶の開発も茶業支援の一つです。この成果を地場産業の伝統に生かしながら、輸出も視野に新しい商品の生産や販売による所得の安定を支援します。

林業では、国産材の価格低迷に伴い、管理されずに放置された山林が増加しています。

市では、山の恵みや価値を見直す取り組みとして、「甲賀木の駅プロジェクト」に支援を行っています。

結果、間伐材出荷者に地域通貨を発行して地域での消費拡大と域内経済の活性化に効果をあげています。

さらに、公共建築物における地元産材の活用を進め、地域林業の再生と強化に取り組んでいきます。

### 滋賀県農業技術振興センター茶業指導所

#### 専門員

**和田 義彦**さん  
**志和 将一**さん



甲賀市は近江の茶の約96%を生産する産地ではありますが、近年の茶価の下落により所得が十分に得られないことが後継者不足にもつながっています。

これからも煎茶やかぶせ茶が販売の軸になりますが、茶農家の所得を向上させるためには消費者の多様なニーズに応える商品の幅を広げることが必要だと考えています。

茶業指導所では茶葉が備えている香りの成分に着目し、花の香りのお茶を作り出そうとしています。今後は生産者がこのお茶の製造に負担なく取り組める研究も進め、市場の拡大による茶業の活性化を支援してまいります。